

2 月 11 日：銀行株が相場全体の上昇を牽引

VN 指数は 0.42% 上昇し 934.67 ポイントで取引を終えた。多くの銀行株が上昇して取引を終えていた。

ホーチミン取引所の相対取引では 2.7 兆ドンが取り引きされた。前日の 2.2 兆ドンから増加した。

ホーチミン取引所では 198 銘柄の上昇に対し 135 銘柄が下落した。VN30 指数は 0.41% 上昇した。19 銘柄が上昇し 7 銘柄が下落した。

FLC ファロス建設 (ROS) は 3 営業日連続のストップ高となった。

同社株は直近大きく下落していたところから反発を始めている。

同様の動きがコテコンズ建設 (CTD) であった。3.8% 上昇し 4 営業日連続の上昇となった。2019 年の年末にかけて大きく下落していた。同社は不動産市場の鈍化と建設資材価格の値上がりの中で毎期の決算で利益の減少を報告していた。

ベティンバンク (CTG) は最も上昇し 4.3% 高となった。BIDV 銀行 (BID)、ベトナムバンク (VCB) はそれぞれ 3.5% と 0.3% の上昇を記録した。

その他の中型銀行では HD バンク (HDB) が 1.7% 上昇した。

一方、最も下落したのはホアファットグループ (HPG) で 3.1% 安、ビナミルク (VNM) は 1.7% 安、ペトロベトナムガス (GAS) は 1.4% 安となった。

ビンググループ (VIC) も 0.3% 安となった。

また、ハノイ取引所の HNX 指数は 1.09% 高、UPCoM 指数は 0.54% 高となった。

外国人投資家は 650 億ドンを買い越した。マッサングループ (MSN)、ビナミルク (VNM) などに買いが集まった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。